

- 種子は殆んど光澤なし、枝は 10 cm. 以下。4.
4. 花冠の縁邊に二齒あるのみ(北米)。 4. *M. dipetala* SUKSD.
- 花冠の縁邊に五齒あり(歐洲、北米、中央亞細亞、シベリア、アフリカ、南極地域)。 5. *M. minor* GMEL. (J. O.)

**金平亮三氏：臺灣樹木の地理的分布** (林學會雜誌、第十四卷、第七號、456-473 頁)。昭和七年七月。

初めに臺灣の植物調査の歴史大略を記述し、次ぎに臺灣の樹木について、比律賓、支那、日本、日本及び支那、比律賓及び支那、馬來及び熱帶亞細亞の外、汎熱帶性樹木、濠洲及びアフリカ系其の他、の各項目に分つてその關係を述べられ、最後に附録として44頁に互る臺灣樹木の地理的分布表がある。 (J. O.)

**猪熊泰三氏：秩父演習林及其附近の木本植物豫報** (東京帝國大學農學部演習林報告第十四號 1-131, 1931): INOKUMA, T.: Preliminary notes on the ligneous plants indigenous in the Chichibu University Forest and its adjacent districts, in Bull. Tokyo Imper. Univers. Forests No. 14 (June, 1931) pp. 1-131.

秩父演習林及びその附近に産する樹木 292 種(變種を含む)について目録で検索表がついて居るので鮮明な寫真圖版と相まつて一般林業家に取つても必要なものである。演習林の位置地形地質及び氣候、木本植物の概況、木本植物の總數及び數的關係、邦内各地との分布關係等の項目によつて演習林の概要も知る事が出來、更にアヲシラベ以下二十四種の分布上注意すべき木本植物が擧げてある。 (J. O.)

SKVORTZOW: **ウラチラストツク附近の沿岸に於ける海産珪藻類** B. W. SKVORTZOW: Marine Littoral Diatoms from Environs of Vladivostok [Philippine Journ. Science, Vol. 47, No. 1 (1932) pp. 129-150, 6 pl.]

日本海北部の珪藻に關しては今まで同氏の研究が植物學雜誌 (1929) 及び Philippine Journ. Science (1931) に發表されたのみである。之等の報告には總べて42種類が認められてゐる。今回發表されたものは1928年夏同氏によつて採集されたもので次の132種が記載されてゐる。

***Podosira montagnei* KÜTZING. *Hyalodiscus scoticus* (Kütz.) GRUNOW.**